

保存処理木材で業界初

エコアコールド
ウッド

製品A Q認証を取得

木材新技術の公的認証に道筋

「エコアコールド」が保存処理の分野では業界で初めて、製品自体のA Q認証を取得した。同製品は、国産材・杉などを保存処理木材として有効利用していくことを目的に開発されたもの。低分子フェノール系保存剤（エコアコールド）を材に加圧注入した後、熱硬化させることで被膜をつくり、腐朽菌、シロアリなどの侵入を防いで保存性能を発揮。また同時に、寸法安定性も向上させることができる画期的なメカニズムを持つ。これまで保存処理では注入される薬剤がA Q認証の対象となっていたが、今回、従来にない技術開発による保存処理木材の公的認証に道筋を付けた。

エコアコールド

熱硬化後の化学構造が

状況だった。

は、福岡県の産・官・学で開発された木材の保存処理技術で、特許も得ている。ただ注入前の薬剤の化学構造と

しかし最初の申請から約3年かかりで、各研究機関関係者の協力による新たな評価の枠組みづくりが進められ、ついに認証に至ったもの。

防腐・防蟻性能に加え、寸法安定性でも認証基準をクリアした。JASの寸法安定性基

知万博パビリオンでの採用など多くの実績を積んでいる同製品だ

準は工場検査時に11・5μとなっているが、A Q認証は11・0μと、より厳しい内容になっている。

が、公的な裏付けを得たことで今秋から全国に向けた販路拡大に踏み出していく考えだ。



エコアコールド（九州木材工業）

A Q認証（優良木質建材等）の内容は「エコアコールド樹脂処理保存処理材」と「エコアコールド樹脂処理屋外製品部材」の2種類。認証区分は、区分なしで、すべての使用環境区分に対応できる。また樹脂処理保存処理材では